

目次

人工木フェンスの設置方法

- 人工木フェンス作りの流れ
- 土中用ポスト固定金具の設置（2）
- 人工木材へのビス打ち
- 基礎周りのモルタル固定
- 土の上に設置した人工木フェンス
- ブロック用ポスト固定金具の設置
- ブロック用ポスト固定金具の設置手順
- ブロック上への人工木フェンス
- 平地用ポスト固定金具の設置（2）
- コンクリート上への人工木フェンス
- 基礎ブロックを使用したフェンス設置（2）
- 控え（支え）の設置方法
- 人工木フェンスのお手入れ

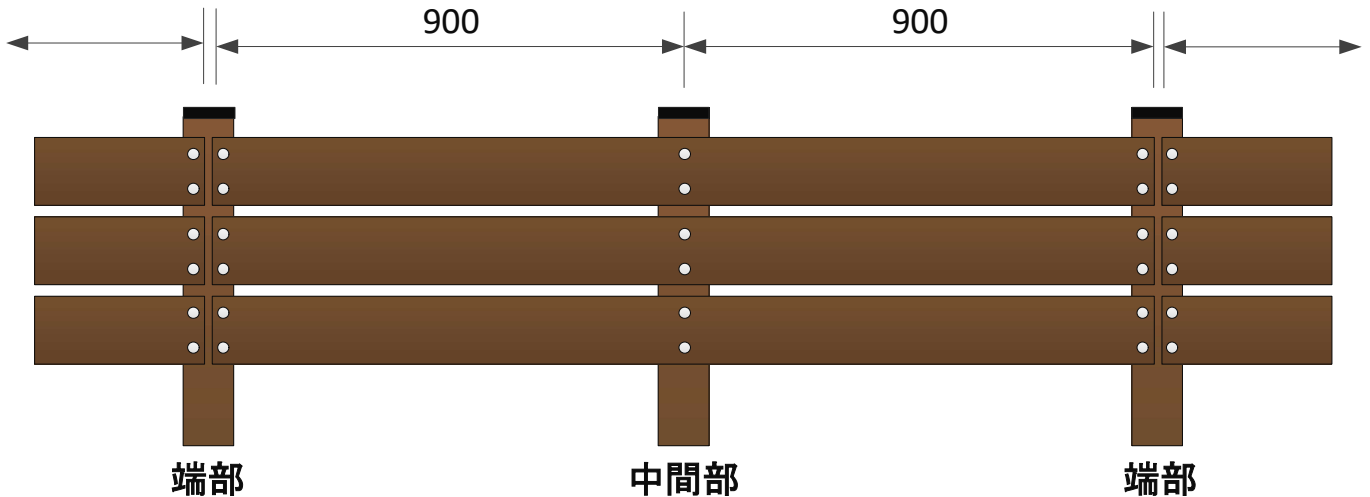
■ 人工木フェンスの設置方法



人工木材は1枚が1800mmですので、柱は1列に3本立てる必要があります。
半端が出る場合は、板材をカットして使用することもできます。

Point

- ① 支柱の間隔は900mm以内になるようにします。
- ② 板材はまず端からビス止めし、次に真ん中、最後に反対側の端部に固定していきます。



■ 人工木フェンス作りの流れ



① 基礎を作っていきます。

金具を設置していく際に、設置幅が長い場合は端から端に糸を張って行っていただくと、よりスムーズです。



② 金具に支柱を差し込みます。

高さを調整される場合は、支柱をお好みの長さにカットして高さを調整します。
ビス止めの際には、支柱に下穴を開けてからネジ止めを行ってください。



③ 人工木材を貼っていきます。

板材は、上段からでも下段からでも貼ることができますが、下段からの方が少し貼りやすいです。あとはスペーサーを当てながら上に向かって貼っていきます。

※ フェンスの固定に使用するビスの長さは、45mmが最適です。



その他、ご不明な点などございましたらお気軽に
お問合せください♪



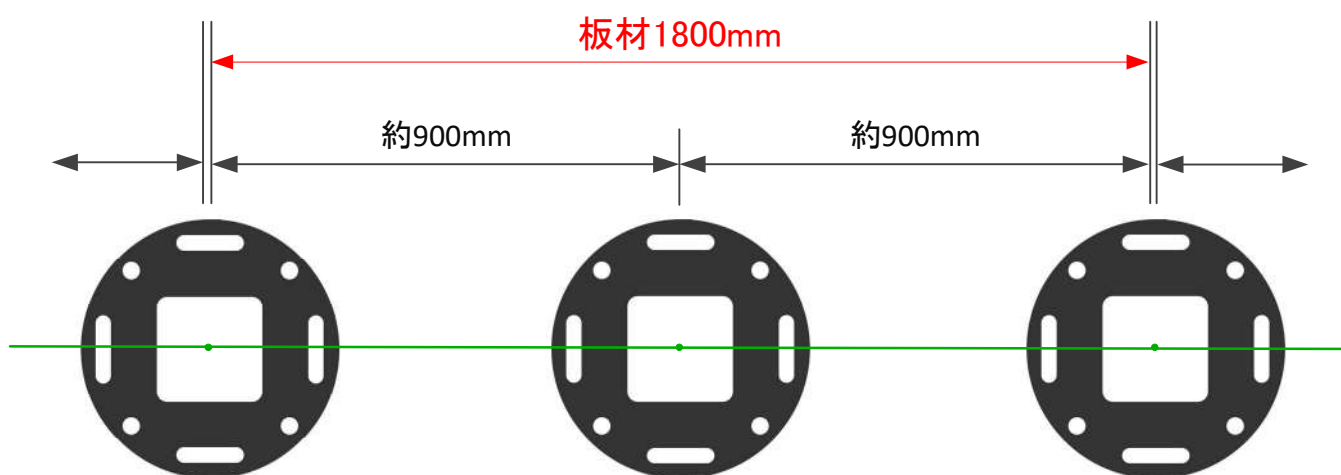
■ 人工木フェンスの設置方法（土中用金具）



設置範囲が長い場合は糸などで線を張り(墨出し)、土中用金具を埋める位置に印を付けます。



■ 金具の位置決めについて



Point

- ① 板材は一枚1800mmですので、支柱を3本立てていきます。フェンスを連結して設置する場合は、つなぎ目部分の支柱の位置が重要になりますので、慣れるまでは一列ごとにフェンスを立てていただくと安心です。

■ 土中用金具を打ち込みます。



ハンマー等で垂直にたたいていきます。
たたく際は、木片を挟むなど金属部を直接たたかないようにします。



■ 土中金具に支柱を立てます。



土中用金具に支柱をはめ込みます。
※ブロック塀があり裏側のビス打ちが出来ない場合、土中用金具の上の部分をはずして、別の場所でビス留めしてからボルト締めしていきます。



■ 板材をビス止めします。(下穴)

まずは下穴を開けます。使用するビスの太さに合わせて、下穴のサイズを決めていきます。当店のカラービスを使用される場合は太さ4.5mmですので、下穴は約3.8mmがおすすめです。



■ 板材をビス止めします。(ビス打ち)

下穴を開けたら、上からビスを打ち込み固定していきます。



■ 人工木フェンスの設置方法（モルタル固定）

土中用金具を使用して人工木フェンスやラティスを設置する場合、基礎周りをモルタルで固定することで、丈夫なフェンスが出来上がります。

- ① 土中用金具の周りを掘り下げます。寸法は約30cm四方、深さ約15cm程度です。
（土の柔らかさなどにより適宜ご変更ください。）



- ② モルタル（又はコンクリート）を練り、設置個所に流し込みます。



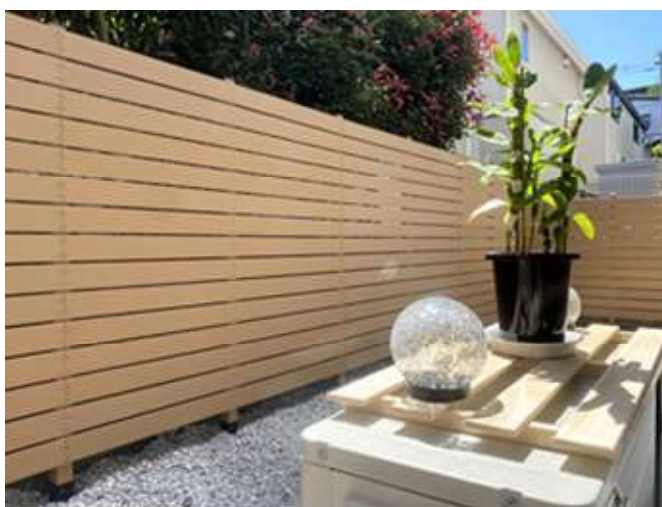
- ③ 硬化（約1日程度）を待つて、固まったら上から土を被せて完成です。



■ 土の上に設置した人工木フェンス設置例



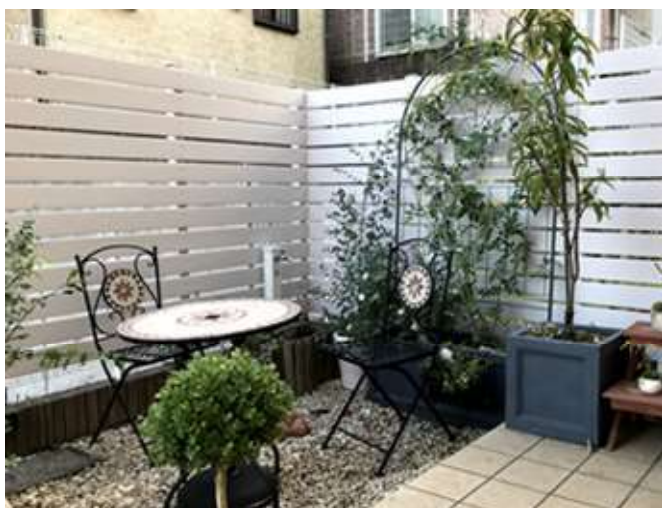
H:1700mm/color:(BR)



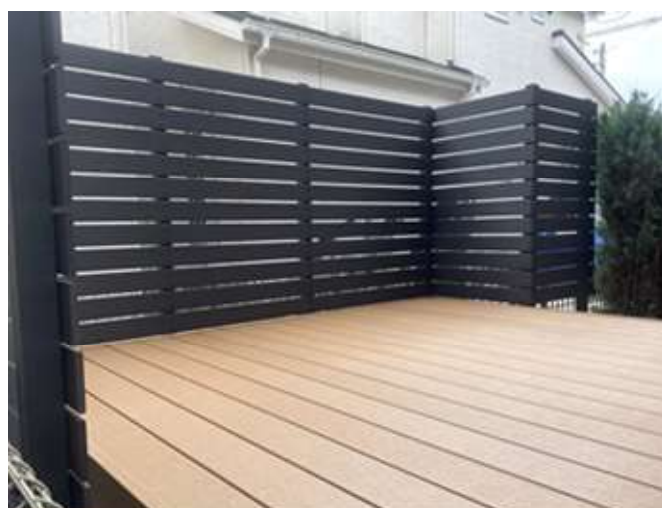
H:1800mm/color:(BE)



H:1600mm/color:(DB)



H:1700mm/color:(WH)



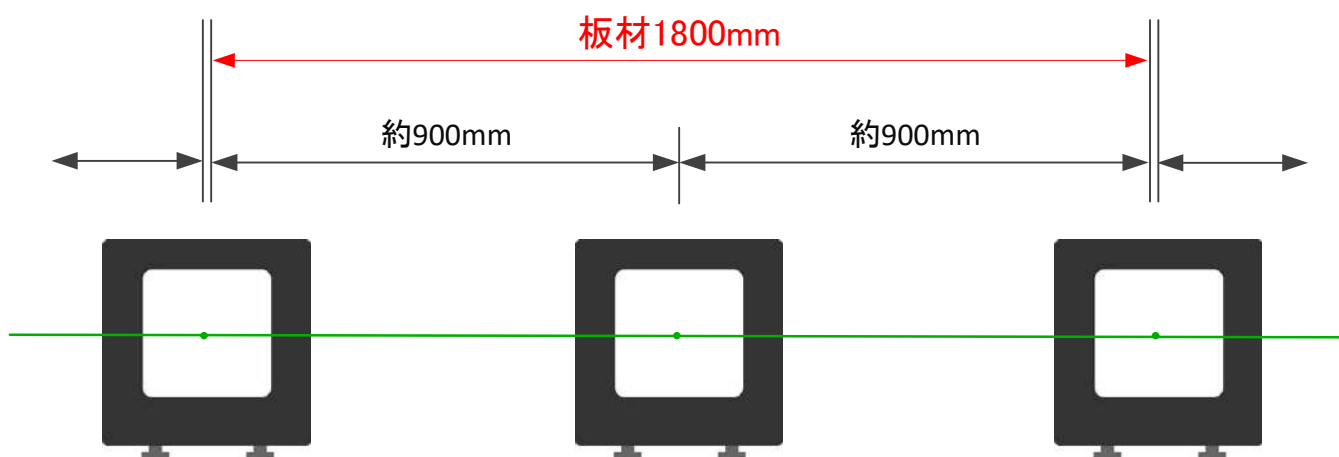
H:1800mm/color:(BL)

■ 人工木フェンスの設置方法（ブロック金具）

ブロック金具を使用して人工木フェンスを設置される場合、ブロック幅の適合サイズは10cm、12cm、15cmの3種類がございます。



■ 金具の位置決めについて



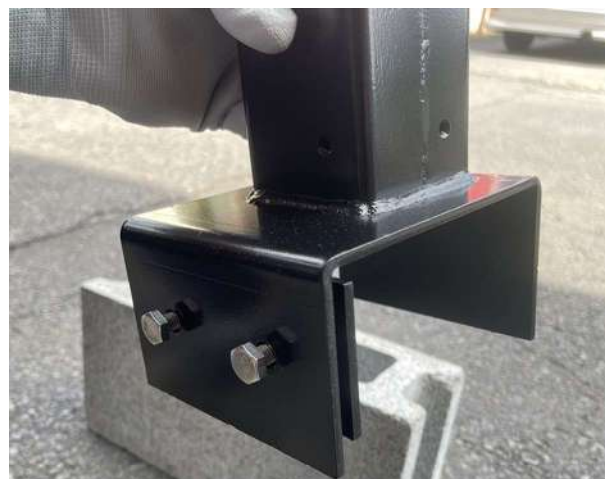
Point

- ① ブロック金具の有効幅は4mm程度ですので、化粧ブロックの場合は金具を使用できないケースもございますので、ご注意ください。
- ② ブロック上にラティスやフェンスを設置する場合、風の強い場所や背の高いものは危険が伴いますので、高さを抑えたり、控え（支え）を設置していただくことをおすすめいたします。

■ 人工木フェンスの設置方法（ブロック金具の設置手順）



まずは交互に少しずつボルトを緩めていきます。
※片側だけを一度に開かないようにしてください。



2本のボルトが開ききったところで準備完了です。



ブロック塀に金具をはめたら、ボルトを交互に
少しずつ締め付けていき、しっかりと固定します。



人工木ポストを差し込み、下穴を開けていきます。
※付属のステンレスビスは太さ3.8mmですので、
下穴は2.8mm～3mm程度で開けてください。



ビスを打ち込みます。
※ビス穴は計8箇所ありますが、裏側のビスが
打てない環境の場合は、先に支柱をビス止め
してから金具を固定します。



付属のボルト樹脂キャップを付けたら完成です。

■ ブロック上への人工木フェンス設置例



H:1500mm/color:(BR)



H:1400mm/color:(DB)



H:1200mm/color:(BE)



H:1200mm/color:(WH)



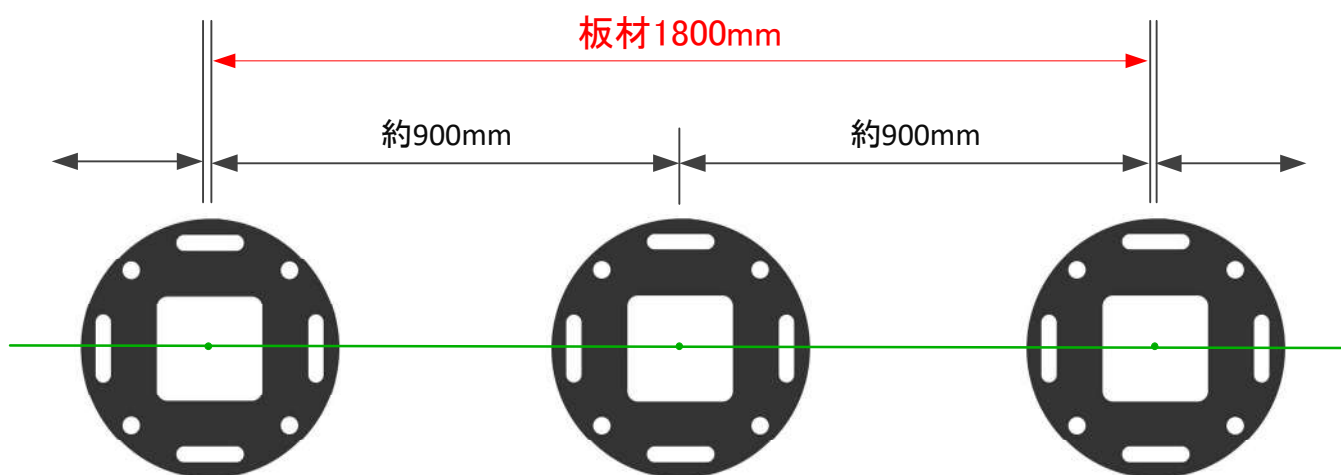
H:1000mm/color:(BL)

■ 平地金具の取り付け要領(アンカー打ち込み)

- ① まずは設置する箇所の両端に糸などで線を張り、目印を付けていきます。
- ② 目印の位置に金具を置き、アンカーを差し込む位置をマークします。
- ③ 一旦金具をどかして、マークした位置にドリルで穴を開けていきます。



■ 金具の位置決めについて



Point

- ① アンカーボルトの固定には、専用ドライバー(振動ドリル)や、ドリルビットをご用意ください。
- ② 使用するアンカーボルトはM8mmのオールアンカーがおすすめです。
- ③ ドリル経は8.5mm、長さは35mm程度です。

■ 平地金具の取り付け要領(アンカー打ち込み)

4ヶ所の穴を空け終わったら、1ヶ所づつアンカーを差し込み、ハンマーでアンカーの頭を叩いていきます。

4ヶ所すべてにアンカーを打ち込んだら、平地金具を再度置いてナットで止めていきます。



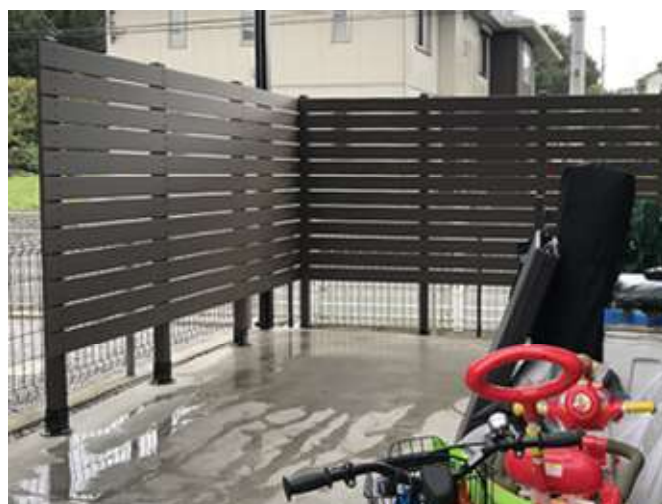
また、設置するコンクリート面が斜めになっている場所などでは、下記の写真のように鉄板やゴム板をかまして水平になるよう調節してください。



■ コンクリート上に設置した人工木フェンス



H:1800mm/color:(BR)



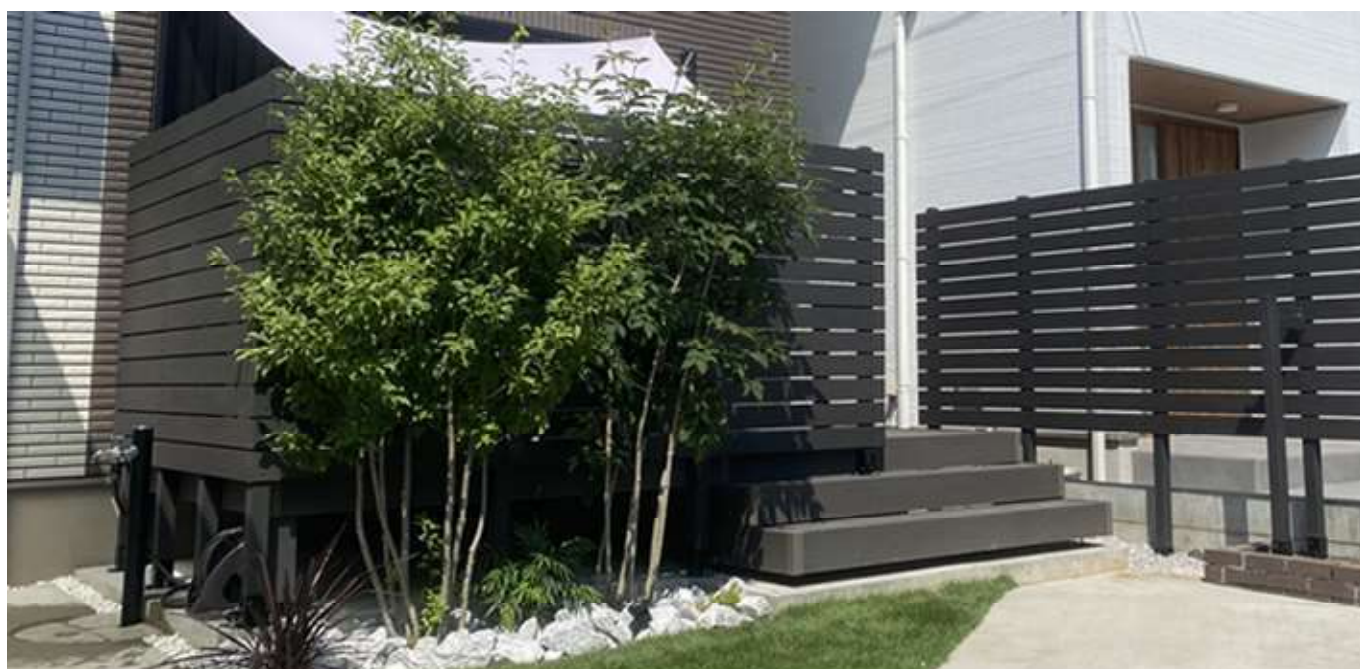
H:1700mm/color:(DB)



H:1600mm/color:(BE)



H:1650mm/color:(WH)



H:1800mm/color:(BL)

■ 基礎ブロックを使用した人工木フェンスの設置

独立基礎やブロック塀、擁壁等に直接支柱を差し込んで固める場合は、当店のアルミ支柱をご使用ください。アルミ支柱は(60角/60×40角/40角)の3種類をご用意しております。



【基礎ブロックを使用したフェンス設置手順】

1、基礎用の穴掘り

支柱の設置位置にスコップを使用してブロックより少し大きめに穴を掘ります。穴の深さは使用するブロックの高さや状況に応じて異なりますが、一般的に300～400mm程度です。

2、基礎ブロックを設置

掘った穴に砕石などを敷き詰めて突き固めます。基礎ブロックを穴に入れ、高さや間隔などを調整していきます。 ※地盤の突き固め工具にはアスファルトタンパーが便利です。

3、支柱の設置

アルミ支柱をコンクリート基礎の中央に配置し、くさびなどを使用して支柱が垂直になるように水平器で確認します。支柱の高さや垂直を調整したらモルタルを流し込んで支柱を固めます。



基礎ブロックを使用する場合

4、フェンス材の取り付け

コンクリートが完全に乾いたら人工木材の貼り付けに進みます。 ※コンクリートが固まるまでに一般的に24～48時間程度掛かります。

5、仕上げと確認

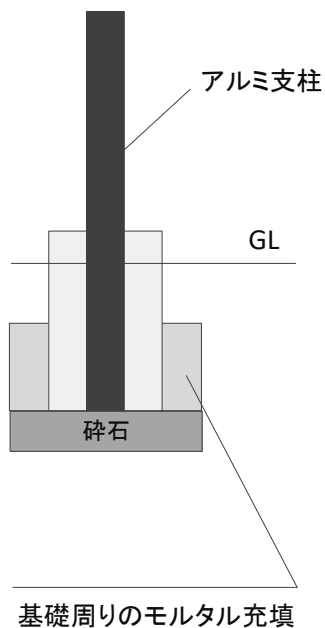
フェンスを貼り付け終わったら、表面のモルタル仕上げと、土を元に戻して完成です♪



ポイント

※基礎ブロック周りのモルタル充填は、横幅が長いフェンスや作業に慣れないうちは位置調整ができるように、フェンスを貼り進めたあとに固めていただいた方が安心です。

※柱内に水が溜まらないように底部は水が抜けるようにしてください。ブロック塀や擁壁など下から水が抜けない状態の場合は、ブロック天端付近に5～6mmの水抜き穴をあけてください。



■ 人工木フェンスの設置方法（控えの設置方法）

人工木フェンス設置にあたり、台風などからフェンスを守ることも大切です。強風対策としての重要な役割を果たしてくれる、「控え」の設置方法をご紹介します。



控えの作り方は、1本の支柱を2分割して、フェンス側と控え側に連結しています。

- まずは人工木フェンスを立て終えたら、控えを作る予定の場所に基礎を作ります。
※フェンスから約20～25センチほど離れた位置に設置します。
- 次に人工木ポスト2000mmを2分割します。
※一本は「控え柱」となりますので、設置するフェンスの高さに対して半分くらいの高さで柱を作り、基礎に差し込み固定します。
- 差し込んだ「控え柱」と、人工木フェンスの間の寸法を測ります。
※この時お互いの垂直を確認して、間の寸法を測ることが重要です。
- 計測した寸法で、残った人工木ポストをカットし、「中間柱」を作ります。
- 最後に「控え柱」と「中間柱」をL型金具で固定します。1箇所の控えには4個のL型金具が必要となります。

これで1か所の控えが完成です。強風対策に強い効果を発揮してくれますので、おすすめです。



■ 人工木フェンスのお手入れについて

人工木は製造時に研磨加工をしているため、表面に微少な削り粉が付着しています。

設置当初は雨が降った際にまれにシミとなって残る場合がありますが、何回か強い雨が降ることできれいに洗い流されて、雨染みも自然と消えていきます。

なお、設置後に濡らした雑巾などで表面を一度水洗いをしていただくと、削り粉も洗い流されて汚れ自体が付きにくくなり、きれいな状態を維持してくれます。

抜群の耐久性と木質感を兼ねたエコウッドシリーズで、末長いエクステリアライフをお楽しみいただければ幸いです♪



お庭の周囲をL型に囲った人工木フェンス(DB)



その他ご不明な点がございましたら、お気軽にご連絡ください。

株式会社エコウッド 千葉県千葉市稲毛区小深町79-1 TEL:043-308-4441 / FAX:043-308-4440